

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表:令和 2年 3月 27日

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	3			
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	17	3		1	・相談しやすいです。 ・職員の入れ替わりが激しい気がする。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	15				・椅子にテニスボールをはかせると良い気がする。 ・玄関が狭くて少し心配。 ・自転車の乗せ降ろしが大変。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	18				靴を履く空間が少し狭いです。脱ぎがゆっくり出来る場所があればよい。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>児童発達支援計画*2</u> が作成されているか	17				
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12				
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	16				
	8 <u>活動プログラム*3</u> が固定化しないよう工夫されているか	17				・いつも季節感のある制作等は子どもが楽しんでいます。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2			1	・広場等で交流があった話は聞くが、どの程度の交流なのかは不明。 ・通所日数があまり多くないため、そういった活動があるのかどうか把握しきれていない。
保護者へ	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19				
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	14				
	12 保護者に対して <u>家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)</u> が行われているか	9				・子どもとのかかわり方のアドバイスあり。 ・大人向けのABAやSSTの本の紹介や貸し出しをして欲しい。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	18				・乗所時に子供の様子、迎えの時にはその都度情報共有出来ている。 ・活動の前後等先生としっかりと話が出来て安心。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15				半年に一度必ず面談があり、悩み等にも上限等の支援あり。

の 説 明 等	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	4	5	7	・療育参観では保護者同士交流が持てる機会があり。 保護会はあった方が良い。親だからこそ出し合えるアドバイスもある。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	17				・大人向けの少人数講座(パパ向け等)があってもよいかもしれない。 ABAに基づいたペアトシなど。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17				
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	17				毎月発行されるステップ便りでは、写真付きで活動の様子が分かる。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	17				・写真はぼかした方がよい(顔)
非 常 時 等 の 対 応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	11				・防犯が弱いと思う。さすまたがなければ用意した方がよい。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10				防犯頭巾をかぶる練習はあった方がよい。
満 足 度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	16				・時間が短くて足りない様子。 ・とても楽しみにしています ・行けば毎回楽しんでいるが、行くまでは面倒臭がったり、行きしぶりをすることがある。
	23	事業所の支援に満足しているか	16				
			329	10	5	9	

*1 この部屋で何をやるのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせる実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。